

第82回水道事業審議会 質疑等

日 時 令和8年3月24日（火）
14時～15時50分
場 所 岡山市水道局 本局3階
災害対策室

■水道料金の負担軽減について

- ・ 質疑なし

■岡山市水道局アプリのリリースについて

- ・ 費用対効果のところでは国の交付金の活用とあるが、これはずっと活用できる交付金なのか。
⇒ 初年度のアプリ構築費用の半分のみ交付される。
- ・ アプリ登録者数について、母数は何人か。また、目標値は。
⇒ 母数は給水戸数の32万。目標値は令和7年度末で9,600人。それ以降は毎年2%の6,400人ずつの増を見込んでいる。
- ・ アプリを登録するには水道番号が必要だが、氏名と住所を入力すれば水道番号が自動表示されるような工夫はできないか。
⇒ 本人確認のためには水道番号がどうしても必要となる。
- ・ アプリの情報を家族で見るとは可能か。
⇒ IDとパスワードを入力すれば可能。
- ・ アプリ導入による費用対効果額はいくらか。
⇒ 5年間の効果額から費用を差し引いた4,000万円を見込んでいる。
- ・ アプリ導入によりペーパーレス化が進めば、費用削減効果が大きいと思うが、将来的に検針票の廃止まで考えているか。
⇒ アプリが広く普及すれば、検討はしていきたいが、現時点で廃止までは考えていない。
- ・ 「アプリを利用できない人、利用しない人への配慮」とあるが、今までどおり検針票や納入通知書を発行してもらえるのか。
⇒ アプリを利用できないお客様へのサービス低下にならないよう、今までどおり検針票や納入通知書の発行も継続していく。

- ・ 個人情報流出への対策は。
⇒ 契約業者に個人情報保護を義務付けている。

■令和8年度当初予算の概要について

- ・ 資本的収支の不足額について、一般会計からの補てんはないのか。
⇒ 国の繰出基準に基づいた繰入金があるが、約1億8,000万円ある。
- ・ 配水管網のブロック化は減災効果があるとのことだが、毎年10億円ほどの予算があるのか。また、市内全域をブロック化していく方針なのか。
⇒ 毎年約10億円の予算でブロック化を進めており、市内の人口密集地域をブロック化していく方針。
- ・ 最近の原油価格や資材価格の高騰で、建設改良事業に遅れは出ていないのか。
⇒ 水道事業においても、資材価格の高騰等で事業費が増加しているが、事業の優先度を見極めながら予算編成しており、事業に遅れは出ていない。
- ・ 他都市では老朽化した水道管の漏水事故が頻発しているが、岡山市ではどのような対策や調査を実施しているのか。
⇒ 昨年、国から老朽化した鋳鉄管の緊急調査の要請があり、調査対象の全管路において、陥没や漏水等の異常は確認されなかった。また、市内を4年で一巡するよう漏水調査を毎年実施しており、発見された漏水は直ちに修繕している。
- ・ 「満足度を高めるサービスの充実」の水道週間関係等の広報は、どのような内容を考えているのか。
⇒ 子どもを対象とした実験工作やアプリを導入していただくためのノベルティグッズの配布などを考えている。
- ・ 水道管の耐震化率はどのくらいなのか。また、毎年何%増えていっているのか。
⇒ 令和6年度末時点で22%。毎年0.7%増を目標に更新を進めている。
- ・ 近い将来、南海トラフ地震が発生すると言われていっている中で、0.7%程度の更新で足りるのか。
⇒ 耐震化にはかなりの費用がかかるため、本市では病院や避難所に接続する口径400ミリ以上の基幹管路を優先的に耐震化していくこととし

ており、令和6年度末現在の耐震適合率は、55.2%となっている。また、配水管網のブロック化を進めることで、災害時の漏水被害を最小限に抑える対策を実施している。

- 耐震化や老朽管の更新などの建設改良費に約 100 億円もの費用がかかっていることを初めて知った。耐震化を進めるにあたって、現状の 0.7%ずつ更新していくのか、または、水道料金を値上げしてでも耐震化をスピードアップさせたほうがいいのか、市民に選択する場があってもいいのではないかと感じた。
⇒ 0.7%がいいのかどうかについては様々な議論があるが、令和9年度から10年間の次期経営計画を策定するにあたっては、委員や市民の皆さまの意見を伺いながら進めて参りたい。